

首相「米は自己完結」↓防衛相「依頼ありうる」

米艦防護揺れる答弁

安倍晋三首相が集団的自衛権を行使する事例としてきた朝鮮半島有事での米艦防護は本当に必要なか。参院審議で焦点となっている。野党は米艦艇は自分たちで防護できるのだから、自衛隊が集団的自衛権を使って守る必要はないと主張する。政府は必要だと答えるために答弁を修正するなど防戦を迫られてきた。

安全保障関連法案を審議する5月5日の参院特別委員会では、朝鮮半島有事で出動する米国のイージス艦を、米艦が自分たちの艦隊で守ることに単独行動を取ることがあるのかと問われた。民主党の小川勝也氏は4日の特別委員で「米艦のイージス艦が日本に守ってもらわなければならないような単独行動を取ることがあるのか」と質問。安倍政権が1隻の米艦船を自衛隊の艦船が防護するイラストを使って繰り返し「米艦を守らなければならない」と強調するのは、「ミスリード

5日@参院特別委
=左が質問、右が答弁

集団的自衛権

Q 日本に対して直接の武力攻撃をしていない国に対して、日本が武力攻撃を行うことは先制攻撃にあたるか。今後日本は先制攻撃を行う国になろうとしているという指摘は誤解ではないか。(自民・北村経夫氏)

A 限定的な集団的自衛権は、自国と密接な関係にある他国に対する攻撃を実力をもって阻止することが正当化されるものだ。これを国際法上違法とされている先制攻撃と呼ぶことは誤りだ。(中谷元・防衛相)

後方支援

Q (戦争中の他国軍への後方支援をめぐり)自衛隊が核兵器を運ぶことは、法文上可能になるのか。戦後初めて、自衛隊が核兵器の輸送を行える法案を通そうとしている。(民主・白眞勲氏)

A 法律上は特定の物品の輸送を排除する規定はない。ただし、核兵器については非核三原則があり、米自身もそういう表明はしていないので、日本としては核兵器の運搬は想定していない。(中谷防衛相)

邦人保護

Q 邦人救出は幅広い概念だが、法文上に派遣される人数の上限はあるか。歴史を見ると、戦前の海外出兵の端緒としては保護や救出を挙げることが多かった。法文上は万単位の自衛隊を送ることが可能なのか。(無所属クラブ・水野賢一氏)

A 人数の制限はないので可能だが、あくまで在外邦人の保護なので、まず領域国の同意が必要だ。また武力行使を伴わない警察活動として行うので、武力行使を目的とした海外出兵の端緒にはならない。(中谷防衛相)

た」と批判した。

「これに対し、安倍首相は「(米艦は)1隻単独で来ることはない。米側は自己完結型で、できる限り防護を固めてくる」として米艦の防護能力を認めた。その上で「北朝鮮有事では(自衛隊が)防護を図るのは当然だ。日本のイージス艦は高い能力を持っている」と述べ、米艦を守る必要性を訴えた。

この答弁に民主の北沢俊美筆頭理事は「初めて首相が米艦1隻で航行することはないと言った。法律の根拠はなかった」と記者団に語り、集団的自衛権を使う必要性を否定した。

こうした状況を受け、中谷元・防衛相は5日の特別委員で「警戒監視等では任務

の内容や海域の状況によって、(米イージス艦)単独で航行することもある」と述べ、前日の首相答弁を修正。その上で、米艦のイージス艦が弾道ミサイル攻撃の迎撃に集中している状況下では、「防護を我が国に依頼するケースも考えられる」と語った。米艦防護が必要ないケースを強調し、批判を抑える狙いがあったと見られる。

民主の櫻井賢一・参院対委員長は5日の記者会見で「議論すればするほど(法案が必要)な根拠となる。立法事実が揺らいでいる」と述べ、今後も追及する考えを示した。(石松恒)

8/6 朝日